

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## 【振り返り】

### アンケート記入

(総合 F) 皆さん、本当にお疲れ様でした。今日、お昼すぎに集まっていたから、じっくりと意見交換をしていただきました。ぜひ、皆様がどんなことを受け止めておられるのか、アンケートにしっかり書いていただければありがたいと思っています。

これから記入していただければと思いますが、Q4は、今はまだ意味が分からないクエスチョンだと思います。後で説明しますので、今はQ4を外しておいてくださって結構です。5分間くらいで書いていただいてから、また、今日の振り返りということでコメントをいただくようにいたしますので、よろしくお願いします。

(アンケート記入)

### 今回および全5回のフォーラムの振り返り

(総合 F) まだ書いておられる途中の方もいらっしゃると思いますが、どうぞ続けて下さい。それでは、いつものように振り返りということで、今日の感想を一言お話いただきたいと思っています。

今日の振り返りということで、一番気持ちに残ったことをお話いただければと思うのですが、今日は、その次に、全5回を通して、どのようにお感じになっているかということもお話ください。今日の感想と、全5回の感想、この両方を合わせて、1分以内ということでお願いします。恐れ入りますが、1分というのは絶対に守っていただきたいので、50秒でタイマーを鳴らすようにしますので、そうしたら、まとめていただければと思います。

では、A班、B班、C班の順序でお話いただきたいと思っています。A班さん、よろしいでしょうか？ あ、もうマイクを持っていただいているんですね。では、お願いします。

(拍手)

—— 今日のフォーラムでは、原子力に対して失われた信頼をどう回復するか、やはり時間がかかりますけど、一步一步地道にやっていくしかない。ひとつには、いろいろ不具合が発生したりしますけれども、原因とか対策、そして再発防止、こういうものを二度と起こさない、こうすればできるというようなところを、これからも地道に、繰り返して誠意

を持って説明していく必要があるかなということを感じました。以上です。(拍手)

—— よくぞ 5 回出てこれたなど。なかなか頭が回らなくて、かなり落ち込んだときもありましたけれども、私にとっては大変貴重な時間をここで過ごさせていただいて、本当に感謝しております。ごめんなさい、ちょっと最近涙腺がゆるくて。

本当に、私たち住民も、背中を向けてはいけなくて、どんどん発信していかなければいけないのではないかとということを感じました。これは、皆さんが本当に気持ちよく受け入れていただいたからで、本当に皆さんに感謝しております。

これから私は、教育委員会で頑張っていこうと、今日思いました。これからも頑張りたいと思います。どうもありがとうございました。(拍手)

—— 本当にこういう機会を作っていただきまして、ありがたかったと思います。5 回を通して、説明の大事さとか、分かりやすさ、あとは、信頼されるような説明というんですかね、やはり説明に尽きるのかなと。そういうものをどんどん重ねていくことで、原子カメラというものの垣根は、少しでも高さを減らしていけるのかなというのを改めて認識したと思います。どうもありがとうございました。(拍手)

—— 私も、このせっきくの機会、5 回のうち 4 回参加させていただいて、いろいろな人と仲良くなり、いろいろな人のすばらしい意見を拝聴し、すごく勉強になりました。

また、この垣根を乗り越えるにはどうしたらいいかということを常に考えながら参加させていただきましたが、なかなか難しいなと思ったところもありました。まあ、いろいろと皆さん、職業もあるので、大変だと思いますけれども、日本をきちんと導いていく方々だと思うので、政治家ではないですけどね、頑張っていたきたいと思うし、私も一般市民としてまた努力していきたいと思います。以上です。(拍手)

—— 皆様、本当に 5 回ありがとうございました。

ムラの人なのかよく分からないですけど、専門家の方と一般の方ということで、本当に境界を越えようということを、私たちが実際に体験したんだなという気がしまして。それを通して、意見の違いもあるんですけど、話し合っていく中で、人と人との信頼というのが、意見が違ってこの人とは話し合える、という雰囲気が、このフォーラムの場ではできたのかなと思います。理想の形をコンパクトに見ているのかなという気がして、ちょっと感動的な気持ちでいます。こういう場がもっと増えればいいなと思っています。ありがとうございました。(拍手)

—— 今日思ったことは、今までに比べると、皆さんだいたい意見が整理されてしまって、あまり新しい意見は出なかったかなというところと。

あと、原子力業界に対して、改善点として、上のほうの流動性などが提案されたのですが、営利企業であるから、現実問題どうするのかなんて思って、壁に当たってしまったかなというところがちょっと残念かな、と思います。

今まで参加した印象としては、専門家の方は経済的な事情などを持ってきて、原子力の再開ということをおっしゃる方が多いのですが、国民の信頼を失ってしまうと、何を言っても耳に入らないということを理解しないと、先に進めないのかなという感じがしました。以上です。(拍手)

—— 一番年下で、年上の人たちに囲まれて、最初は意見が言えなくて困っていたんですけど、いろいろな人に助けていただいて、自分の意見をぐいぐい引き出してもらって、だんだん自分の意見がスパッと出るようになったので、とてもうれしかったです。

これからも、ちゃんと自分の意見を言えて、しかも、自分の意見だけではなくて、周りの人の意見もちゃんと聞いて、まとめられるようになりたいなと思いました。ありがとうございました。(拍手)

—— ええと、5回ですか。なんか、短いようで、長いようで。

今日は、倫理観って何か、ということを考えさせられました。

本当に皆さんの言うことはいろいろと参考になって、自分の考えていることとやはり違うなど。それが収穫というか、私のこれからの人生に良いエキスを与えてくれたなと思います。ありがとうございました。(拍手)

—— 今回、いろいろ話してもらって、やはり皆さん1人1人意見が違うんだなというのを、改めて実感しました。

5回を通じて、他の方はどうか分からないんですけど、少なくとも私は、原子カムラの境界は、自分としては越えたと思っているんですけども。もしかしたら境界というものが見えてきたのではないかなと個人的には思っています。

私は、こういうふうに皆で話し合って、意見を寄せ合って、ひとつのものを作っていくということをしたことがなかったので、今回参加させていただいたことはこれからの人生で大変役に立つと思っています。どうもありがとうございました。(拍手)

—— 今回フォーラムに参加させていただいて、ファシリテーターとか、発表の場とか、非常にいい練習になりました。ありがとうございました。

今日思ったことは、やはり、まだ私の中で、原子カムラというのは何なのかというのは、フワフワした状態のままで。うーん、いろいろなイメージは持ちましたけれども、ちょっとまだフワフワしているなというのが本当の印象です。

一番印象に残った回は、原子力の関心、無関心の回(第3回)です。あのときは、(自

分は) 関心があるけど、無関心の人はそれでも仕方がないというような形になって、あれだけの事故が起きたけど、やはりそういう認識の人もいるんだなというのは、少し思いました。ですけど、こういう会、フォーラムを重ねることで、皆さんの認識が共有できて、いろいろな考え方が聞けて、すごく良かったです。ありがとうございました。(拍手)

—— 学生のときを思い出すような、刺激のある話し合いに参加できて、すごい良かったかなと思っています。1回参加したら5000円というのに乗っかっただけだったんですけど、5000円以上の、都合すると3万円ですけども、それ以上の対価をいただいたような気がしています。

で、専門家の方がいらっしゃるので、私の考えを言うと、私は、実は原発の撤廃はちょっと考えにくいのかなと思っています。即時停止ということは、実は思っていないのです。

ただ、再稼働させるのであれば、ちゃんと基準を明確にして、まあ、再稼働の基準もホームページを見たのですが、よく分からなかったんですけど。あれが全部そうだとやられて戸惑ったのですが。それをちゃんとやった上で、皆が納得する形で再稼働できるものはしてほしいと思っています。

ただ、いろいろ隠していることが多い。未だに1973名がどうのとか、いろいろ出てきているので、そういったものはちゃんとやっていただきたいなと思っています。どうもありがとうございました。(拍手)

—— まず今日なのですけど、深掘りして考えられるようになったかなと思います。テーマが実は第1回と同じで、第1回は皆さんも人の顔を見ながら、どんなもんだろうっていう感じだったと思うのですけど、だいたいパターンも分かってくる、人となりも分かってくる、話を引き出したり、出されたりができるようになったのかなと思っています。

ただ、「原子カムラ」というテーマが果たして本当によかったのかなというのは、実は私は思っていたりします。それはさておき、人と理解し合えるとか、こういうプロセスが大事だったのかな、などと思いました。

原子力については、会社に戻ればたぶんこの問題はまだ厳然と残っているんですけど、この機会は、とても糧にさせていただけるなと思いました。ありがとうございました。(拍手)

—— 土曜日は家庭サービスの日なのですけど、それを4回も犠牲にして、家族から怨嗟の的になっています。男女比率、それから年齢比率、非常にいい構成かなと思いました。若い層がもう少しいたほうがよかったかなと。やっぱり、若い方を見ていると、伸びるなと思ひまして。自分のことを考えると、本当に暗澹たる思いになります。ありがとうございました。(拍手)

—— このテーマは安全神話を考えるということだったので、それを 2 年くらい考えていて、ちょうどいいタイミングでこのフォーラムの話が来て、そういう意味でありがたいと思いました。

その結論は、安全神話はなくなっていないということだとすると、またどこかで事故が起きるということをますます確信するようになってしまって、その点はとても残念なのですけど。まあ、それはそれでこのフォーラムの成果だと思っています。どうもありがとうございました。(拍手)

—— 第 1 回のフォーラムが終わった日に、なんとなく、「多様性」がキーなのかなと思っていたのが、今日のグループワークで、あちこちから「多様性」という言葉が出てきて、それが嬉しかったです。

ここで皆さんと議論した多様性ということと、日本の原子力ということに対して、何ができるかなという宿題をもらったような気がしました。ありがとうございました。(拍手)

—— 今日の議論なのですけれども、やはり最後ということもあって、具体的で建設的な意見が出てきて、これで最後ですけど、今後の目指す方向みたいな、ヒントみたいなものが得られたのは良かったかなと思っています。

5 回を通してなのですけれども、やはり信頼がいかに大事か、一度失った信頼を取り戻すのがいかに大変か、ということ、身を持って痛感した次第です。会社では、本当に口すっぱく言われるのですけれども、会社の奥に籠って仕事をしていると、あまりそういうことも考えなかったりして。こういう場でいろいろな方々と議論すると、やはり信頼というのがとても大事なんだなと。で、分野外の方々と議論するというのがとても大事ななと。私、あまり家族とも話をしたこともないんですけど、議論すると負けてしまうのであまりしてないんですけど(笑)、積極的にいろいろな人と話をしたいと思っています。ありがとうございました。(拍手)

—— 相変わらず欲求不満状態なのですよね。原発がどういう位置にいるのか、未だに分からないです。結局、経済的なものなのか、社会学的なものなのか、免疫学的なものなのか。いろいろな問題を含みすぎて、具体的な数字が出てこない、まるきり私としては、議論のような気がしない。群盲象をなでるような感じの議論にしか見えなかったんです。まあ、私はこういう性格なので、仕方がないとは思いますが、機会があれば、もう少し勉強してみたいと思います。(拍手)

—— 私自身のイメージとしては、最初のアンケートに、原子力を推進すべきかとか、いろいろあったので、そういう中身のところを深く、素人と専門家でどういうふうに意見が違って、それはどうしてなのか、という議論をやるのだらうと思っていました。

そういう意味では、前回（第4回）は少し意見の出し合いができた。ただ、中身の掘り下げというような、乗り越えるというところだと、何が違うのかとか、その辺りが少し物足りなかったなと思います。

良かった点は、多様性じゃないけど、いろいろな人の意見だということ。

ある意味で、連想ゲームで何かまとめるというものだったなあと。連想ゲームからもっと深く、どんな情報が違うのかとか、そういうところがあまり分からなかったのが少し不満な点です。今後同じようなことをやるのだったら、もう少し深くやられたらどうでしょうか、ということをおもいました。（拍手）

—— ありがとうございます。今日は、やはり回を重ねることで、いろいろ自分の意見もまとめられるようになってきたし、皆さんのお話もこういうことなのだな、という理解が進んだかなと思いました。

全体を通して、私は、こういう場に参加できて、いろいろな方のお話も聞けて、専門家の方みたいな、普段は絶対知り合えない方とも知り合えて、良かったのですが、これを持ち帰る場がないなというのを、いつも感じています。私の周りでは、「原発は反対」以外の意見は、言えないのですね。せっかくこういうフォーラムを受けたのに、私はこれをどうしたらいいのだろうというのを、ここしばらく悶々としていて、それがこれからの私の課題かなと思っています。（拍手）

（総合F） 今日のご感想、5回を通じたご感想、そして、今後こういうフォーラムをやるなら、というようなご提案、厳しいお言葉もいただきました。本当にありがとうございます。

皆さんの言葉を受けて、研究代表者の木村さんのほうから一言お話いただき、そして、今後どのように展開していくかということに関して、少しお話をさせていただこうと思います。では、木村さん、よろしく願いいたします。

（木村） 皆さん、全5回ということで、もうかれこれ2ヶ月になるわけですが、長い間お付き合いいただき、誠にありがとうございました。

今日の感想の中でも、「多様性」というひとつのキーワードが出ていて、かつ、ここに集まってくださった皆さんのご意見同士が多様であることが分かりました、というご意見がたくさん出てきました。私は、そこがまずはそれぞれを尊重する第一歩なのかなと考えているところがあって、いいフォーラムができたなど。とりあえず、第一のハードルをクリアできるような道しるべが見えてきたのかなと思っています。

今後ですけれども、こういうところをしっかりと学術的に記述していかないと、いろいろなところを展開するときに厳しいですから。単にこういうことをやりました、だけではなくて、「尊重する」というのはどういうプロセスを取っていけばいいのか、こういうとこ

ろはしっかりと分析させていただきたいと思っています。

またいろいろな機会のおきにお声掛けすると思ひますけれども、よろしくお願ひします。  
どうもありがとうございました。(拍手)